
平成 28 年 北海道建築士会 第 2 回青年委員会(web) 報告書

開催日時 : 平成 28 年 11 月 05 日 (土) 14:00~16:30

開催場所 : 事務局会議室 (札幌市中央区大通西 5 丁目 大五ビル 6 階) 及び各自宅

出席者(事務局) : 石塚、丹波、小林、大浦、原、針ヶ谷常務理事、岡本

出席者(web) : 工藤、伊井、渡辺、鈴木、朝倉

≪協議事項≫

1. 全道大会 (室蘭大会) 青年サミットについて (渡辺) 【14:00~14:15】

○担当 ◎渡辺、朝倉、伊井

○日時 平成 28 年 9 月 30 日 (金)

○場所 室蘭建設会館 1 階 大会議室

○内容 「鉄のまち室蘭からものづくりの原点を感じる」

石炭の積出港として発展した室蘭の鉄鋼業の始まりは、1900年代初めに日本製鋼所と現在の新日鉄住金 室蘭製鐵所が設立されたことによります。鉄工業が発展すると同時に街も発展し、人口は昭和 45 年に 16 万人のピークをむかえ、その後、他の地方都市と同様に産業の衰退、社会情勢の変化と共に人口も減り、空き家問題、少子高齢化などの問題を抱えます。しかし、優れた技術・技能と人材が集まり、『ものづくり』の街としての歴史は今なお刻まれています。

市では H14 年には開港 140 年市制施行 80 年を記念し、21 世紀に相応しい『ものづくりのマチ』へ向けて進むことを宣言しています。どんな時代になっても『ものづくり』は、人々の思いや夢をカタチにする大切な役割を担います。

『ものづくり』の現場を体感することにより、我々青年建築士も建築を通して、人々の思いや夢をカタチにする『ものづくり』の原点を感じたいと思います。

○タイムテーブル

13:00~13:30 受付

13:30~14:00 挨拶、進行説明

14:00~14:15 バス移動 (新日鉄住金構内へ)

14:20~16:20 新日鉄住金構内見学 (高炉、棒鋼工場)

16:20~17:20 室蘭市内見学 (絵鞆小学校、白鳥大橋、等)

17:25~17:30 総評、事務連絡

18:30~20:30 懇親会

○振り返り事項

約 100 名の参加があり、なかなか見ることが出来ない構内をじっくりと見学することが出来て、とても勉強になった。(スキルアップにつながった)

懇親会会場が狭かったが、料理はとても良く、皆さんからは満足の声をいただいた。

2. 全道大会 (室蘭大会) C 分科会について (工藤) 【14:15~14:20】

○担当 ◎工藤、原、大浦

○日時 平成 28 年 10 月 01 日 (土)

- 場所 室蘭市 蓬莱殿 1階 明庭の間
- 内容 東日本大震災から5年、被災地の復興が進む今でも各地で台風・大雨・地震・火山噴火などの災害が起きています。北海道も例外ではなく、根室での高潮被害やオホーツク管内で起こった暴風雪も記憶に新しい所です。災害による被害を最小限にとどめるには、災害にどう備えるか・いざという時にどう行動するのかを日頃から考えておくことが大切です。C分科会では、建築士として防災・減災のために、仕事の中で又は地域の中で出来ることは何かを考え、被災した時にどう行動すれば良いかを避難所運営ゲーム（HUG）を通して考えていきます。

○タイムテーブル

12：15～12：30(15)	受付（受付2名、会計1名）
12：30～12：50(20)	挨拶・進行説明
12：50～14：10(80)	避難所運営ゲーム（HUG）
14：10～14：25(15)	各班発表
14：25～14：30(05)	総評・事務連絡
14：30	閉会

○振り返り事項

- 純粹に HUG は面白かったと思う。
- 事前に青年委員の中で予習をしたのが良かった。TM の進行がスムーズだった。
- 北海道 危機対策課の國田氏も、建築士会に大きな期待を寄せているとのこと。今後、それぞれが地元を持ち帰って、HUG を広めていくことが出来れば理想的。

3. 全国大会（大分大会）全国建築士フォーラムの報告（石塚）【14:20～14:25】

- 日時 平成 28 年 10 月 21 日（金）16:30～20:00
- 場所 別府国際コンベンションセンター リハーサル室（大分県別府市山の手町 12-1）
- 内容 建築士又は建築士会の魅力を改めて見つめ直し、青年建築士が活躍できる『魅力ある未来社会』の為に、全国大会に集まる同志と情報を共有する語らいの場として開催します。
社会に求められる建築士の輪を全国規模で広め、全国で実践している『魅力ある未来社会』に向けた取組みを共有する場を設けます。
前半において、平成 26 年度全国青年委員長会議にて設定頂いた目標に関する成果報告と共に、近年のブロック青年建築士協議会としての取組みを7ブロックから発表（ブロック紹介を含む）頂き、全国の青年建築士が他ブロックの取組みを共有する場を設けます。
後半において、平成 28 年 4 月に発生しました熊本地震を受け、震災対応経験者を交えて近年の大地震の震災対応や建築士（会）の取組みを参加者と共に議論する場を設けます。

○報告事項

- 北海道ブロックは、「次世代を担う子ども達の為に、お仕事体験イベントをバージョンアップさせる」という目標についての成果報告発表を行った。（青年委員長 石塚が発表）
- 2015 年に各ブロックで行ったお仕事体験イベントの報告
 - ・ 2015.07.11 函館（道南ブロック）
 - ・ 2015.09.26 名寄（道北ブロック）
 - ・ 2015.10.31 宗谷（道北ブロック）
 - ・ 2015.11.14 北見（道東ブロック）

・ 2015.12.13 江別（道央ブロック）

4. 全国大会（大分大会）青年委員会担当セッションの報告（工藤）【14:25～14:30】

- 日時 平成 28 年 10 月 22 日（土）09:00～12:00
- 場所 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ（大分県別府市山の手町 12-1）
- 内容 建築士会に求められる、公益性に対する基幹事業のひとつとして、全国の地域実践活動があげられます。全国大会の青年委員会担当セッションとして実施する地域実践活動報告では、各ブロック青年建築士が推薦する秀逸な活動事例を紹介します。
日頃の成果発表と共に、発表者と参加者が語りながら研鑽し、活動のさらなる発展、波及、相互理解などの可能性を探る参加型の発表会を開催します。
前半で各ブロック青年建築士が推薦する活動事例を7ブロックより1事例ずつ発表頂き、後半で参加者を含めて語るワークショップの場を設けます。

○報告事項

- 北海道ブロックは、5月に開催した青年建築士のつどいにて選出された、函館支部の「木で遊ぼう！マイはし作り体験」の発表を行った。（工藤・朝倉）
- 当日になって用意していたパワポが反映されていないというアクシデントがあったが、無事に発表することが出来た。
- 工藤委員・朝倉委員のコンビネーションがとても良く、聞きやすい発表だった。
- 詳細の結果については、わかり次第おしらせします。

5. 次年度（H29）事業計画について（石塚）【14:30～15:00】

（1）委員会について

- Web会議ではなかなか密な協議が出来ないので、次年度はWeb会議を1回にして、本部会議を3回にする。
第1回本部会議：1月
第2回Web会議：4月
第3回本部会議：8月
第4回本部会議：11月

（2）H29 全道青年委員会連絡会議について

- 開催日：3月25日（土）
- 開催場所：未定
- 内容：「ひろげる・つなげる」のうち「ひろげる」を意識した内容とするのはどうか？
（他団体や一般の人達を巻き込んだ企画等）

（3）H29 青年建築士の集いについて

- 開催日：5月13（土）or 20（土）or 27（土）
- 開催場所：苫小牧市
- 内容：全国大会発表の為の選抜戦、他

(4) H29 各ブロック協議会について

- 基本的には、今年と同様の活動になる予定。
- 各ブロック長さんは事業内容を検討し、ML で UP することとする。

(5) H29 全道大会（後志大会）青年サミットについて

- 「前乗りしている人達が集まって交流をしよう」というスタンスで行う。
- 但し、本大会への参加がおろそかにならないようアナウンスをする。
- 後志支部に負担がかからない様、十分な配慮が必要。

(6) H29 全道大会（後志大会）C分科会について

- 内容についてはまだ未定だが、後志支部の人員が少ないので、ある程度は青年委員会主導で動くことを考える。

(7) H29 連合会青年委員会について

- 全国青年委員長会議：3月4日（土）～5日（日）
- 全国大会（京都大会）フォーラム：12月7日（木）
- 全国大会（京都大会）セッション：12月8日（金）

(8) H29 社会貢献及び建築士会周知に関する活動について

- 今年と同様に開催する。
- スタッフを一人でも多く配備できるような工夫が必要。（他団体への声掛けは？）
- 建築士をもう少しアピールする工夫をしたほうが良いのでは。
- 新しい試みを取り入れたい（スタンプラリー等）

……………休憩……………【15:00～15:15】

5. 次年度（H29）予算要求について（石塚）【15:15～16:15】

(1) 予算要求について

- 次年度予算（H29）について話し合いを行った。（別紙参照）

6. その他（石塚）【16:15～16:30】

(1) 会誌原稿について

- 次回原稿は本部から苫小牧で開催するお仕事体験イベントの記事でお願いしたい とのことなので、苫小牧支部青年委員長の岡嶋さんをお願いしたい。（岡嶋さんに確認する）